

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

大島文化センターに 橋本武子メモリアルコーナーを開設

10月28日、大島文化センターにおいて橋本武子メモリアルコーナー開設記念セレモニーが開催されました。

橋本武子さん（1913～1992年）は独学で短歌を始め、昭和21年に「青潮短歌会」を設立し、現代短歌の普及に多大な功績を残され、県芸術文化振興奨励賞などを受賞されています。

メモリアルコーナーには青潮短歌会から寄贈された、武子さんの歌集などが展示されています。当日は、千葉県船橋市にお住まいの武子さんのご長男、橋本徹也さんもセレモニーに参加され、「私も18歳まで大島で暮らしていました。母が育った大島にメモリアルコーナーを設けていただきたき大変ありがたいことです。」とお礼を述べられました。



▶ テープカットの様子。写真左から音羽晃青潮短歌会代表 橋本徹也親族代表、椎木町長 荒川町議会議長



◀ メモリアルコーナーには、橋本武子さんの遺品や歌集など、約20点が展示されています。

松井竜也さん（東屋代出身） 技能五輪国際大会で銅賞



東屋代出身の松井竜也さんが、10月4日から9日に英国で開催された第41回技能五輪国際大会に出場し、曲げ板金競技の部で3位入賞し、銅メダルを手に入れました。

技能五輪国際大会は2年に1度、世界各国の予選会を勝ち抜いた青年技能者が一堂に会し、技能を競い合う国際大会です。曲げ板金の部は世界各国から7人が出場し、与えられた課題の立体作品を作製するため、金属板を曲げたり、溶接したりし精度などを競い合いました。

松井さんは現在、自動車製造会社へ就職しており、「今回培った技術などを会社の後輩たちに伝えていきたい。」と抱負を語られました。

中学校生徒の主張



社会を明るくする運動の一環として大島保護区保護司会により、第61回大島郡中学校生徒の主張発表大会が10月13日、大島文化センターで開催されました。大会では14人の中学生が日ごろの思いや気付いたことを発表し審査の結果、安下庄中学校3年の中谷敦子さんが最優秀に選ばれました。